

平成 23 年度 普及に移す農業技術（第 2 回）

- [分類] 普及技術
 [成果名] 移植水稲用初中期除草剤ピクトリー Z1 キロ粒剤・メガゼータ 1 キロ粒剤、ピクトリー Z フロアブル・メガゼータフロアブル、ゼータワンジャンボは水田雑草防除に有効である
 [要約] 移植水稲用初中期除草剤ピクトリー Z1 キロ粒剤・メガゼータ 1 キロ粒剤を移植後 5 日からノビエ 2.5 葉期までに 1 kg/10a、ピクトリー Z フロアブル・メガゼータフロアブルを移植後 5 日からノビエ 2.5 葉期までに 500ml/10a、ゼータワンジャンボを移植後 5 日からノビエ 3 葉期までに 400g(40g×10 パック)を湛水処理することで効果的な水田雑草防除が可能である。
 [担当] 農業試験場作物部・農業技術課
 [部会] 作物部会

1 背景・ねらい

省力的で除草効果の高い移植水稲用初中期除草剤の実用性を検討し、新しく利用できる剤として情報提供する。

2 成果の内容・特徴

- (1) 移植水稲用初中期除草剤ピクトリー Z 1 キロ粒剤・メガゼータ 1 キロ粒剤を移植後 5 日からノビエ 2.5 葉期までに 1 kg/10a、ピクトリー Z フロアブル・メガゼータフロアブルを移植後 5 日からノビエ 2.5 葉期までに 500ml/10a、ゼータワンジャンボを移植後 5 日からノビエ 3 葉期までに 400g(40g×10 パック)/10a を湛水処理する。
 (2) 本剤は新規成分プロピリスルフロンを含む。

農薬登録内容

ピクトリー Z1 キロ粒剤・メガゼータ 1 キロ粒剤

[一般名および成分含有量] ピラクロニル 2.0%、プロピリスルフロロン 0.9%

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない

[魚毒性]：ピラクロニル A 類、プロピリスルフロロン A 類

[対象作物に対する適用登録状況]（平成 24 年 2 月 13 日現在 J P P - N E T 確認）

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり 使用量	本剤の使用 回数
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	湛水 散布	砂壤土～ 埴土	移植後 5 日～ノ ビエ 3 葉期た だし、移植後 30 日 まで	1kg/10a	1 回

ピクトリー Z フロアブル・メガゼータフロアブル

[一般名および成分含有量] ピラクロニル 3.9%、プロピリスルフロロン 1.7%

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない

[魚毒性]：ピラクロニル A 類、プロピリスルフロロン A 類

[対象作物に対する適用登録状況]（平成 24 年 2 月 13 日現在 J P P - N E T 確認）

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり 使用量	本剤の使用 回数
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、アオミドロ・藻類による表層はく離	原液湛 水散布 又は水 口施用	砂壤土～ 埴土	移植後 5 日～ノ ビエ 3 葉期た だし、移植後 30 日 まで	500ml/10a	1 回

ゼータワンジャンボ

[一般名および成分含有量] ピプロピリスルフロロン 2.25%

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない [魚毒性]：プロピリスルフロロン A 類

[対象作物に対する適用登録状況]（平成 24 年 2 月 13 日現在 J P P - N E T 確認）

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり 使用量	本剤の使用 回数
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ	湛水 散布	砂壤土～ 埴土	移植後 5 日～ノ ビエ 3 葉期た だし、移植後 30 日 まで	小包装（パ ック）10 個 （400g）	1 回

3 利用上の留意点

(1) 利用上の留意事項は、「農作物病害虫・雑草防除基準(長野県)」の除草剤の使用方法(初中期除草剤)を参照する。

4 対象範囲

県下全域

5 具体的データ

(1) ビクトリーZ1キロ粒剤・メガゼータ1キロ粒剤(以下ビクトリーZ1キロ粒剤)

ア 平成20年に農事試験場で実施した試験では、移植後5日~ノビエ2.5葉期処理の除草効果は高かった(表1)。薬害はみられなかった。

表1 ビクトリーZ1キロ粒剤の雑草防除効果^{a)}(平成20年、農事試験場)

除草剤名	処理時期 ^{c)} 処理量(/10a)	ノビエ	一年生 広葉 ^{d)}	タマガ ヤツリ	ホタルイ	マツバイ	合計	オモダ カ ^{e)}	クロゲ ワイ ^{e)}
ビクトリーZ1キロ粒剤	+5日 1kg	0	0	0	0	0	0	(2)	(0)
	ノビエ2.5葉期 1kg	0	t	0	1	0	t	(1)	(0)
トップガンLフロアブル	+5日 500ml	0	5	0	t	0	1	(25)	(63)
体系除草 ^{b)}	+0日 +20日 1kg + 1kg	0	0	0	t	0	t	(15)	(99)
無処理	-	5.3	51.9	0.1	63.0	0.2	120.5	(32.4)	(7.7)

a) 除草剤各処理区の数値は対無処理比(%), 無処理区は乾物重(g/m²), 「t」はtrace(痕跡)を示す

b) 体系除草はソルネット1キロ粒剤 マメットSM1キロ粒剤

c) 処理時期の+は移植後日数

d) コナギ、アゼナ、ミゾハコベ、キカシグサの合計

e) 塊茎埋め込み試験, 合計より除外

試験方法: 試験場所は農業試験場水田ほ場(標高340m、中粗粒グライ土)。品種は「あきたこまち」。中苗3本植(22.2株/m²)。代かきは5月9日、移植は5月13日。1区7.2m²区制。

調査方法: 移植後37日後に調査した。

イ 平成23年に伊那市現地ほ場で実施した試験では、移植後5日処理で除草効果が高く(表3)、薬害は認められなかった。

表2 ビクトリーZ1キロ粒剤の雑草防除効果^{a)}(平成23年、上伊那農業改良普及セ)

除草剤名	処理時期 ^{c)}	処理量(/10a)	アゼナ	ホタルイ	マツバイ	計
ビクトリーZ1キロ粒剤	+5日	1kg	0	15	1	1
無処理	-	-	0.1	0.1	23.8	24.0
(比較) ^{b)} バッチリ1キロ粒剤	+5日	1kg	0	t	t	t
(比較) 無処理	-	-	0.4	0.2	0.2	0.8

a)、c)は表1と同じ

b) 比較は試験区の隣接ほ場で実施

試験方法: 試験場所は伊那市美篤(標高650m、沖積、砂壤土)。品種は「コシヒカリ」、中苗、機械移植。代かきは4月30日、移植は5月6日。1区6a、反復なし。

調査方法: 50×50cmの枠サンプリングにて、処理区は複数カ所、無処理区は1カ所の調査を行った。

(2) ビクトリーZフロアブル・メガゼータフロアブル(以下ビクトリーZフロアブル)

ア 平成19年に農事試験場で実施した試験では、移植後5日～ノビエ2.5葉期処理の除草効果は高かった(表3)。薬害はみられなかった。

表3 ビクトリーZフロアブルの雑草防除効果^{a)}(平成19年、農事試験場)

除草剤名	処理時期 ^{c)} 処理量(/10a)	ノビエ	一年生 広葉 ^{d)}	タマガ ヤツリ	ホタルイ	マツバイ	合計	クロゲ ワイ ^{e)}
ビクトリーZフロアブル	+5日 500ml	0	0	0	0	0	0	(0)
	ノビエ2.5葉期 500ml	0	t	0	t	0	t	(0)
トップガンLフロアブル	+5日 500ml	0	1	0	t	0	t	(0)
体系除草 ^{b)}	+0日 +20日 1kg+1kg	0	t	0	2	0	t	(0)
無処理	-	1.3	35.9	12.6	16.2	0.1	66.0	(2.0)

a)~e)、試験方法、調査方法は表1と同じ。

イ 平成23年に松本市の現地ほ場で実施した試験では、移植後6日処理で除草効果が高く(表4)、薬害は認められなかった。

表4 ビクトリーZフロアブルの雑草防除効果^{a)}(平成23年、松本農業改良普及セ)

除草剤名	処理時期 ^{c)}	処理量(/10a)	ノビエ	一年生広葉 ^{d)}	計
ビクトリーZフロアブル	+6日	500ml	1	0	1
無処理	-	-	35.5	t	35.5
(比較) ^{b)} トップガンLフロアブル	+6日	500ml	0	0	0
(比較)無処理	-	-	0	2.4	2.4

a)、c)は表1と同じ

b)比較は試験区の隣接ほ場で実施

d)一年生広葉雑草はアゼナ主体

試験方法：試験場所は松本市寿(標高640m、礫質灰色低地土)。品種は「コシヒカリ」、中苗、機械移植。代かきは5月17日、移植は5月22日。1区13a、反復なし。

調査方法：50×50cmの枠サンプリングにて、処理区は複数カ所、無処理区は1カ所の調査を行った。

(3) ゼータワンジャンボ

ア 平成23年に農業試験場で実施した試験では、移植後5日～ノビエ3葉期処理の除草効果は高かった(表5)。移植後5日処理で軽微な薬害がみられたが、その後の生育に影響はなかった(表6)。

表5 ゼータワンジャンボの雑草防除効果^{a)}(平成23年、農業試験場)

除草剤名	処理時期 ^{c)} 処理量(/10a)	ノビエ	一年生 広葉 ^{d)}	タマガ ヤツリ	ホタルイ	マツバイ	合計	オモダ カ ^{e)}	クロゲ ワイ ^{e)}
ゼータワンジャンボ	+5日 400g	t	0	0	t	0	t	(0)	(t)
	ノビエ3葉期 400g	0	0	0	2	0	1	(0)	(0)
トップガンLフロアブル	+5日 500ml	t	1	0	t	0	t	(80)	(11)
体系除草 ^{b)}	+0日 +20日 1kg+1kg	0	0	0	t	0	t	(-)	(-)
無処理	-	29.1	22.9	11.4	106.1	0.4	169.9	(1.7)	(0.6)

a)~e)、試験方法、調査方法は表1と同じ。

表6 ゼータワンジャンボによる水稻生育・収量への影響（平成23年、農業試験場）

除草剤名	処理時期 ^{c)} 処理量(/10a)	薬害			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	穂数 (本/m ²)	出穂期 (月/日)	精籾重 (kg/10a)	体系 除草区 比(%)
		症状	程度	回復の 遅速						
ゼータワン ジャンボ	+ 5日 400g	黄化・初期 生育抑制	微	早	64	718	513	7/27	924	104
	ノビエ3葉期 400g	-	無	-	65	629	501	7/27	897	101
トップガンL フロアブル	+ 5日 500ml	-	無	-	65	697	493	7/27	893	100
体系除草 ^{b)}	+ 0日 +20日 1kg+1kg	-	無	-	66	669	458	7/27	891	100
無処理	-	-	-	-	58	372	248	7/25	373	42

b)、c)、試験方法は表1と同じ。
調査方法：草丈・茎数は7月1日調査。

イ 平成23年に小諸市の現地ほ場で実施した試験では、移植後5日処理で除草効果が高く(表7)、薬害は認められなかった。

表7 ゼータワンジャンボの雑草防除効果^{a)}（平成23年、佐久業改良普及セ）

除草剤名	処理時期 ^{c)}	処理量	ノビエ	コナギ	アゼナ	ホタル イ	計
ゼータワンジャンボ	+ 5日	400g	0	26	8	0	18
無処理	-	-	t	1.0	0.5	0.2	1.7
(比較) ^{b)} ボデーガードジャンボ	+ 5日	400g	0	23	2	3	13
(比較) 無処理	-	-	0	2.3	1.6	0.4	4.2

a)、c)は表1と同じ

b)比較は試験区の隣接ほ場で実施

試験方法：試験場所は小諸市（標高760m、埴壤土）。品種は「コシヒカリ」、中苗、機械移植。代かきは6月3日、移植は6月8日。1区3a、反復なし。

調査方法：50×50cmの枠サンプリングにて、処理区は複数カ所、無処理区は1カ所の調査を行った。

6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

普通作物の新規農薬等の効果試験、平成19、20、23年度(2011)、民間受託、県植物防疫協会委託試験（普及展示ほ）、平成23年度（2011年度）、その他